

「生協ひろしま2030年ビジョン」テーマ ともに創ろう CO・OPの未来 GO!2030

「私たちは協同のちからでより豊かなくらしの創造と平和な社会づくりに貢献します」

生協ひろしまの理念のもと、私たちがめざす「ありたい姿」「果たすべき役割」を定めた2030年ビジョンを策定しました。
持続可能な開発目標であるSDGsの達成に向けて、2030年ビジョンを実現していきます。

2030年ビジョンの取り組みと目標

1. 『つながり』をたいせつにする社会の実現

項目	年度	目標	SDGs 項目No.
食品ロス削減活動	組合員認知率	2030 100%	1
ユニセフ募金活動	募金	毎年 3,000,000円	2
災害時復興支援・事業継続	災害基金	毎年 20,000,000円	3
子育て支援推進	子育て支援施設設置	2030 20か所	3
組合員のくらしに貢献	関連窓口設置	2025 2025年設置	3
減災・防災取り組み	幹部職員BCP学習	毎年 年2回	11
減災・防災取り組み	組合員学習参加率	2030 延べ10%	11

3. 健康にくらせる社会の実現

項目	年度	目標	SDGs 項目No.
組合員の健康づくりに貢献	GENKI体操参加	2030 年間延べ40,000人	3
組合員の健康づくりに貢献	学習機会参加	2030 年間延べ10,000人	4
組合員の健康づくりに貢献	職員のコンシェルジュ化	2026 2026年	3
高齢者対応における地域貢献	認知症サポーター養成講座受講率	2030 100%	3
不慮の事態における地域貢献	救命救急措置講座受講率	2030 100%	4
各自治体との連携	自治体と相互情報発信	2030 全23市町	11

2. 『安全・安心』にくらせる社会の実現

項目	年度	目標	SDGs 項目No.
地域見守り	配送拠点設置	2030 20か所	11
地域見守り	夕食お届け食数	2030 1日3,700食	11
地域見守り	サポートカー全店舗配置	2023 11台	11
事業廃棄物削減	包材リサイクル率	2030 100%	12
食品廃棄物の削減	食品廃棄量削減	2030 50%	12
商品情報提供の強化	双方向通信による広報展開	2024 2024年開始	4
生協産直政策の継続	組合員・職員学習参加	2030 年間延べ10,000人	4
食の安全に関わる情報発信	学習の場開催	2030 年6回	4
エンカル消費学習と利用促進	組合員認知率	2030 100%	14.15
再生エネルギー利用推進	電気由来CO ₂ 削減	2030 70%	13
業務車両からのCO ₂ 排出量削減	車両由来CO ₂ 削減	2030 30%	13
コブでんき推進	供給電力CO ₂ 排出量	2030 0%	7
新システム構築	IT関連部署設置	2023 2023年設置	9
省資源化	業務用紙使用量削減	2030 70%	12
省資源化	カタログチラシ削減	2030 25%	12
障がい者雇用の安定・維持	法定雇用率継続	2030 2.3%	10
障がい者団体の支援	支援募金	毎年 年1,000,000円	10

4. 平和をめざす社会の実現

項目	年度	目標	SDGs 項目No.
平和活動推進	平和活動への参加	2030 年間延べ30,000人	16
平和募金活動	募金活動	毎年 年2,000,000円	16
核兵器廃絶行動	核兵器廃絶	2030 ゼロ発	16

5. 生協ひろしまの未来を担う人材・組織の実現

項目	年度	目標	SDGs 項目No.
地域に貢献する組織づくり	女性職員比率	2030 30%	5
地域に貢献する組織づくり	女性管理職比率	2030 20%	5
地域に貢献する組織づくり	新規総合職採用者確保	2030 年20人	8
地域に貢献する組織づくり	定年年齢延長	2030 70歳	8
組織内情報コミュニティ開設	WEB広報誌職員閲覧	2030 100%	9



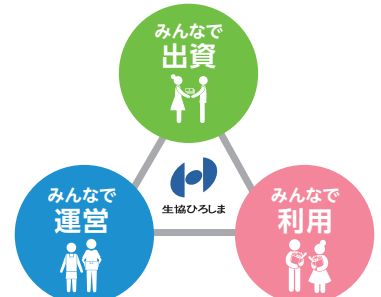
生協ひろしまは
SDGs (持続可能な開発目標) について学び、
広げ行動していきます。

SDGsとは 2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に2016年から2030年までの国際目標が記載されました。目標は持続可能な社会を実現するための17のゴールから構成され、地球上の誰一人取り残さないことを誓っています。持続可能な開発目標には生協の事業、活動に強い関わりを持つ目標があります。生協ひろしまではSDGsの目標の達成に向けさまざまな取り組みを行っています。



生協とは

生協はくらしを豊かにしたいという組合員の願いを実現するためにみんなが話しあい、力を合わせて商品を開発し商品やサービスを通じたくらしの見直しに取り組む消費者団体の協同組織です。一人ひとりでは弱い立場の私たちもみんなで力を合わせれば大きな力を生み出すことができます。みんなの協力で作られている生協は組合員自身が出資し商品を利用し、自分(組合員)たちの手で進めていく組織です。



ピースナイター2022を開催

8月6日(土)、プロ野球の公式戦を通じて、核兵器の廃絶と平和をアピールする15回目の「ピースナイター2022」を開催しました。始球式は地元広島で活動する被爆二世のシンガーソングライター 佐々木リョウさんがつとめ、5回の裏には観客が一体となり球場全体を緑に染め、平和の願いを発信するパフォーマンスが3年ぶりに行われました。



被爆ピアノコンサートを開催

原爆の被害を乗り越えた被爆ピアノが奏でる音色は、聞く人の心に命の大切さ、平和の尊さを伝えます。2022年度は、県内3カ所で「被爆ピアノコンサート」を開催し、延べ**384名**の方が参加しました。「被爆ピアノコンサート」を通じて、被爆の実相を継承し、戦争も核兵器もない平和な世界の実現に向けてヒロシマの願いを発信しました。



▲12月10日(土) 安佐北区民文化センター会場

ヒロシマの願いを全国へ

8月4日(木)・5日(金)、「ピースアクションinヒロシマ・ナガサキ」の様子が全国へオンライン配信されました。戦争も核兵器もない世界を次世代へつなぐことをテーマに、被爆証言や被爆ピアノコンサート、平和への取り組みがライブで配信されました。



沖縄戦跡めぐりに参加

「ピースアクションinオキナワ第40回沖縄戦跡・基地めぐり」に組合員と職員4名が参加し、講演会や参加者交流会、フィールドワークを通して沖縄戦や基地問題について幅広く学びました。



平和募金に取り組みました

平和募金に取り組み**4,287,551円**の協力がありました。募金は被爆者支援、継承活動団体の支援金、組合員による平和行事や平和活動の費用として活用されます。



ユニセフウクライナ緊急募金

ロシア軍のウクライナ侵攻により、500万人以上の子どもたちが人道支援の必要な状況となっています。組合員に「ユニセフウクライナ緊急支援募金」への協力を呼びかけ、集まった

16,170,489円の募金を日本ユニセフ協会に送金しました。



折り鶴昇華再生事業

広島平和記念公園の原爆の子の像に国内外から捧げられる、平和の折り鶴を再生原料に商品化し、平和への思いを伝える「平和の折り鶴昇華再生事業」に取り組んでいます。2022年度は組合員による折り鶴解体作業が14回行われ、**160kg**の折り鶴が解体されました。



碑めぐり動画を作成

広島平和記念公園と周辺には被爆の実相を伝える「碑」が点在しています。それぞれの「碑」のいわれや「思い」について生協ひろしま碑めぐりガイドが伝える動画を作成しました。ホームページや広報誌こーぶぱれっとに紹介しています。



コープファミリーリレーマラソン in 世羅を開催

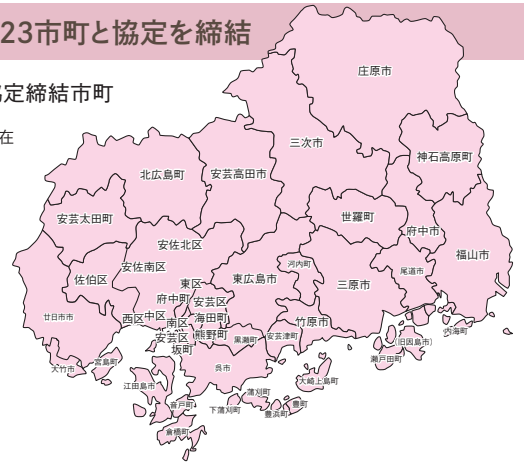
包括的連携協定を締結している世羅町との協定項目である地域の活性化に向けた具体的な取り組みとして、駅伝の町「世羅町」の特徴をいかした「コープファミリーリレーマラソン in 世羅」を開催しました。大会には120チーム、**860名**が参加しました。



県内全23市町と協定を締結

協定締結市町

2022年12月現在



新しいフードドライブを開催

子ども食堂が要望している商品を組合員が店舗で購入し、支援品として子ども食堂に贈呈する生協ひろしま独自のフードドライブを4店舗で開催しました。全体で**956点**の協力があり、支援品は15ヵ所の子どもの食堂に贈呈されました。



障がい者支援募金

障がい者支援募金に取り組み、**2,983,622円**の協力をいただきました。募金はきょうされん広島支部をはじめ、県内の障がい者支援団体の活動を支援する助成金として活用されます。



就労支援でハートランド受賞

就労継続支援A型事業所(株)ハートランドひろしまが「特別支援学校就職サポート隊ひろしま」の推進企業に選ばれ表彰されました。



くらしの助けあい

くらしの助けあいは2022年度「お互いに思い合って助けあい」をテーマに、感染予防対策を取りながら活動しました。活動者は延べ**881名**、援助希望者は延べ**990名**、活動時間は延べ**6,059時間**でした。



朗読ボランティア

視覚障がいのある組合員のために、注文カタログ「デリコ」などチラシに記載されている商品情報を音声で吹き込み、CDIしてお届けしています。現在42名の利用者へ7名の朗読ボランティアが週2名体制で吹き込みを行っています。



広島の魅力発信「コピーちゃんねる」

YouTubeに県内各地の人気スポットや特産品、コープ商品を使ったクッキングなどの情報を発信する「コピーちゃんねる」を開設しました。2023年3月末現在、52本の動画を配信し、**2,520名**がチャンネル登録しました。



ひろしまGENKI体操

広島大学と生協ひろしまが広島県全域の健康増進をめざし、共同研究を進めている「ひろしまGENKI体操」は、14会場で定期開催し、延べ**5,200名**が参加しました。



子育て支援

こどもコーぶらざ西風新都で、広島医療生協と連携し、発育相談やベビーマッサージなどのイベントを月1回開催しています。



オンライン家族クッキング

新型コロナウイルス感染症の影響により組合員活動が制限される中、2022年5月に株式会社シーサット、8月にホクト株式会社と「オンライン家族クッキング」を開催し、組合員ご家族が合計10組**24名**参加しました。
動画を使った工場見学や商品学習をした後、各メーカーの商品を使ったレシピをオンラインで楽しくクッキングしました。



エシカル消費の一例

社会

CO・OP レッドカップキャンペーン
対象商品を1点購入で1円が国連WFPに寄付されます。飢えに苦しむカンボジアの子供たちの学校給食を届けるために使われます。

教育

コアノスマイル スクールプロジェクト
「CO・OPコアノロール」シリーズを1パック購入ごとに1円がユニセフを通じてアフリカアンゴラ共和国に寄付されます。子どもたちが楽しく学べる環境づくりに使われます。

環境

MSC認証
MSC認証は、持続可能で適切に管理された漁業で獲られた水産物につけられる認証ラベルです。海洋の健全性に貢献することをめざしています。

産直商品の産地と交流

JA福山市沼隈ぶどう選果場で天然スイーツ交流会を開催。ぶどうのもぎ取り体験や選果場で商品学習、クイズ大会などを行い組合員と生産者が交流を行いました。



2022年度主なエシカル消費の取り組み

取り組み	協力金	内容
障害者 ノルディック応援 キャンペーン	590,616 円	CO・OP応援食クッキー1点購入につき1円が日本障害者スキー連盟に寄付され「障害者ノルディックスキー日本ジュニアチーム」の活動資金として活用されます。日本生協連全体で590,616円になりました。
もずく基金	748,229 円	対象商品1品購入につき1円～2円を積み立て、748,229円が集まりました。サンゴの植え付けなど海の生態系を守る活動に使われます。
洗剤環境 寄付 キャンペーン	3,220,275 円	コープの洗剤対象商品を1品購入につき0.5円を積み立て、環境保護団体に寄付します。日本生協連全体で3,220,275円になりました。生協ひろしまでは、広島県環境保健協会へ贈呈しました。

農業体験

農業生産法人ハートランドひろしまでは、とうもろこしやミニトマト、さつまいもなどの植え付けや収穫を家族で体験できる農業体験イベントを企画しています。家族で土に触れ、農業や環境のことを学ぶイベントとして、毎年多くの組合員が参加しています。



地産地消キャンペーンに参加

県内産の農林水産物や加工商品を購入することで、生産者を応援する広島県の取り組み「地産地消キャンペーン」に生協ひろしまの各店舗で参加しました。

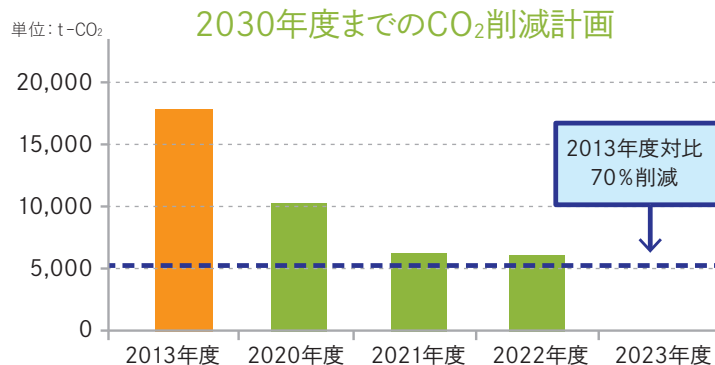


組合員の声から商品を開発

商品テスター8名、商品モニター**371名**の声を商品の開発と改善に活かしました。11月には、中国地方5生協の組合員の声を参考に開発した「凍りこんにやく入り牛肉コロッケ」を発売しました。



2030年度までにCO₂排出量を70%削減します (2013年度対比)



年度	2013年度	2020年度	2021年度	2022年度
CO ₂ 排出量	17,049	10,023	5,652	5,350
前年度比	-	84.0%	56.4%	94.7%
2013年比	-	58.8%	33.2%	31.4%

2030年度までに
70%のCO₂削減に取り組みます。

2022年度は店舗の照明機器更新や、こまめな消灯に取り組んだ結果、68.4%まで削減しています。

生協ひろしまは5事業所の屋根に太陽光発電装置を設置し、CO₂削減に取り組んでいます。2022年度は5事業所合計で669,662kWh/年を発電し売電と自家消費に使用しています。



コープでんき

今日から一緒に 未来のためのエネルギー

累計契約件数が6,063件になりました。(2023年3月末現在)

事業開始から着実に契約保有件数は増加しています。

多くの方に「コープでんき」をご利用いただき、家庭から排出されるCO₂排出量を削減することにより地域温暖化対策に取り組み、組合員とともに持続可能な社会 (SDGs) の実現をめざします。

協同のチカラでCO₂を削減

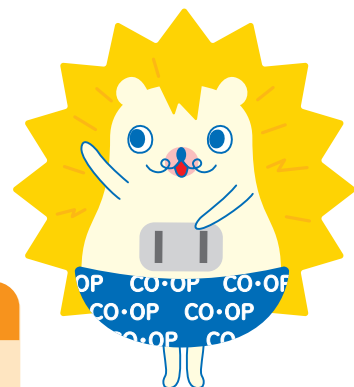
生協ひろしまの事業で70%CO₂削減

2050年度までに90%CO₂削減

組合員の利用で

家庭のCO₂排出量を1年間で

30%削減

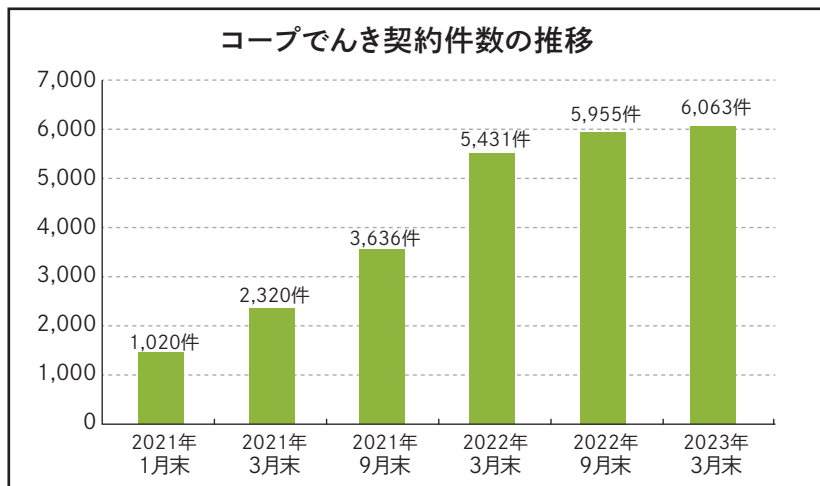


コープでんきのキャラクター「こぶでん」

※地域大手電力会社対比 (2021年度CO₂排出係数値にて試算)

現在、計画を上回る組合員にご契約をいただいています。

契約組合員の声



「コープでんき」の利用を始めて1年になります。未来のためのエネルギーと意識することで、環境のことも考えて行動するようになり、節水やゴミの出し方など他の面でもエネルギーを大切に使う生活になった様に思います。



電気、車両燃料等の使用量

項目	使用量	単位	前年対比
電気	11,571	千kWh	93.3%
都市ガス	19,861	m ³	69.4%
LPガス	16,312	m ³	99.5%
水道	50,139	m ³	97.0%
車両(軽油)	467,699	ℓ	95.6%
車両(ガソリン)	424,418	ℓ	97.3%
注文書等商品案内	6,334	t	98.7%
シッパー内袋	201	t	98.0%
レジ袋	3.4	t	109.7%
トレイ	11.6	t	102.7%
ラップ(インスタアー)	8.1	t	100.0%

環境保全コスト

生協ひろしまでは環境保全を効果的に推進していくため環境保全に負荷のかかる費用と効果の進捗状況を記録しています。



(単位:千円)

主な取り組み内容	20年度	21年度	22年度	前年対比
浄化槽の点検、グリストラップ清掃	3,132	2,777	2,736	98.5%
生ごみ、廃食油、魚残さのリサイクル	4,052	3,983	4,060	101.9%
一般・産業廃棄物の処理・処分、ごみ袋	20,046	27,075	27,294	100.8%
害虫駆除	2,620	2,675	2,712	101.4%
再商品化委託料	1,877	1,750	1,555	88.9%
合計	31,749	38,260	38,357	100.3%

リサイクル推移

項目	回収形態	回収実績量(t)					再生品
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
飲用パック	支所・店舗	66.8	64.1	66.7	65.0	64.7	コアノンロール
たまごパック	支所・店舗	48.0	47.0	49.2	48.8	42.6	たまごパック
発泡トレイ	支所・店舗	17.4	16.6	16.9	16.9	17.2	トレイ
透明トレイ	店舗	5.5	6.6	7.3	8.8	9.1	トレイ
シッパー内袋	支所	45.3	45.5	46.2	43.1	45.5	再生フィルム、文房具
チラシ類	支所	4,857	4,755	4,824	4,928	4,970	チラシ
ペットボトル	店舗	26.0	21.8	21.3	23.9	25.8	プラスチック原料
合計		5,066.0	4,956.6	5,031.6	5,134.5	5,174.9	

食品リサイクル・ループの取り組み

各店舗で排出された食品残さ(惣菜や野菜くずなど)を堆肥化し、子会社のハートランドひろしまで野菜づくりに活用しています。作られた作物は、宅配や店舗で販売をおこないました。



食品廃棄量の削減

2022年度の
食品リサイクル率は**64.3%**

各店舗から排出される野菜くずなどを肥料などにリサイクルし、食品廃棄物の削減に取り組んでいます。



店舗では省エネ照明の更新

コープ安東の照明機器をエネルギー効率の高いLED照明に更新しました。



組織概要

(2023年3月31日現在)

名称 生活協同組合ひろしま
創立 1984年10月(昭和59年)
本部 広島市西区草津港2-8-42

活動エリア 広島県全域
(定款)
組合員数 399,474名
県内加入率 32.0%

出資金額 134.4億円
供給高 478億3,000万円
福祉事業収入 13億9,679万円
その他事業収入 14億6,573万円

※供給高は組合員との取引価格総額

職員数
総合職員 585人
専任職員 321人
パートナー職員 559人
福祉専門職員 193人
ヘルパー登録者 320人

役員 理事長 宗本干城
専務理事 高浦美穂
常務理事 重津光彦
常勤理事 高橋房大
常勤理事 重信 均
常勤監事 波田啓継

組合員数

399,474名

(計画比98.9% 前年比100.0%)

出資金

134.4億円

(計画比100.1% 前年比101.3%)

2022年度事業状況

※数字は2023年3月末現在
※供給高は組合員との取引価格総額

供給高 478.3億円 (計画比 102.8%)
(前年比 99.7%)

宅配事業 394.2億円 (計画比 102.9%)
(前年比 98.8%)

店舗 84.1億円 (計画比 102.2%)
(前年比 103.9%)

移動店舗(ぶちこーぷ) 6台稼働中

廿日市市・佐伯区・西区・安佐南区・安佐北区・東区・
安芸高田市・呉市、など248ポイントを配送

供給高 1.22億円 (計画比 90.5%)
(前年比 103.1%)

福祉事業 13.9億円 (計画比 92.3%)
(前年比 96.1%)

e.ふれんず(インターネット注文)

供給高 59.2億円 会員数 90,966名
(供給高に占める割合15%)

夕食宅配(おもしろいコブ弁当)

平均食数 3,555食/日 会員数 22,971名
供給高 6.0億円(前年比101.0%)

新聞で紹介された

生協ひろしまの取り組み (2022年度パブリシティ)



2022.6月9日	値上げラッシュ	中国新聞
8月5日	コロナ療養支援バックお届け	中国新聞
8月7日	ピースナイター2022を開催	中国新聞・経済レポート
9月27日	「お母さんの被爆ピアノ」平和賞受賞	毎日新聞
11月1日	コープ船越でフードライブを開催	経済レポート
12月9日	理事長インタビュー	中国新聞
2023.1月25日	無印良品を生協でも	中国新聞
2月28日	子ども食堂の現状講演会	経済レポート
3月19日	G7に伴う配送対策会議開催	中国新聞
3月28日	被爆者支援及び継承活動団体へ支援金贈呈式	経済レポート

「声」を届けました。

【私もひとこと】

●3,415件 ※注文書等での受付

【あなたの声いかします】

●185件 ※店舗で受付

【こーぶぱれっとへのお便り】

●2,007件

【ホームページ】

●アクセス件数/
821,036件 (前年比243.7%)

●メール/
1,029件 (前年比106.5%)

「お互いさま」の輪

【くらしの助けあい】

(2022年4月～2023年3月)

●活動協力金/2,341,107円

●総活動時間/6,059時間

●援助希望者/延べ990名

●活動者/延べ881名

協同の心を届けました。

【募金等】

●平和募金 4,287,551円

●障がい者支援募金 2,983,622円

●ユニセフお年玉募金 1,705,567円

●ウクライナ緊急支援募金 16,170,489円

●もずく基金 748,229円

●コアノンスマイルスクールプロジェクト 14,314,320円
(日本生協連全体)

●ピンクリボン運動 1,509,439円
(日本生協連全体)

●洗剤環境寄付キャンペーン 3,220,275円
(日本生協連全体)

【署名】

障がい者福祉についての
法制度拡充を求める請願署名 7,661筆

2022-2023News topics

自治体と スポーツイベントを共催

包括的連携協定を締結している世羅町との協定項目である「地域の活性化」に向けた取り組みとして、「コープファミリーリレーマラソンin世羅」を世羅町と共催いたしました。



ウクライナ避難民に支援バック提供

広島市や福山市など6市町からウクライナ避難民の生活支援を目的に支援物資提供の要請を受け、要請のあったウクライナ避難民22世帯へ食料品を中心とした支援バックのお届けを行いました。



編集方針

生協ひろしまは2006年に「企業の社会的責任」を意味するCSR経営を進めることを宣言しました。事業と組合員活動から成り立つ生協ひろしまの取り組みをステークホルダーの皆さまに報告いたします。この報告書は生協ひろしまの基本理念に則して推進している生協ひろしまの事業や活動、その進捗状況を報告することを基本とします。

発行 行：2023年6月
生活協同組合ひろしま
〒739-0495
広島県廿日市市大野原1-2-10

問い合わせ先：総合企画部
TEL 0829-50-0409
FAX 0829-50-0352
URL <https://www.hiroshima.coop>
E-mail hcoop@mail.hiroshima.coop

ホームページ



Instagram

